災害から命を守る学びのつながり（小3から小6へ）

小3から小6まで、くらしの安全と災害から命を守るしくみを、どう広げて学ぶのだろう



小3

地域の安全を守る働き

消防署や警察署が連携し、地域の人と協力して火事や事故を防ぐ

守る人：消防署・警察署と、地域の人々

自分にできること：きまりを守り、自分や地域の安全を考える

小4

自然災害から人々を守る活動

県内の自然災害をもとに、県や市が中心になって対処し、備える

守る人：県庁・市役所と地域の人々（自衛隊など国とも協力）

自分にできること：起こりうる災害を考え、日ごろから備える

小5

我が国の国土の自然環境と国民生活との関連

国土の地形や気候と関わって起こる自然災害と、国や県の対策を知る

守る人：国や県（堤防・砂防ダム・ハザードマップの作成など）

自分にできること：防災の情報に関心をもつ

小6

我が国の政治の働き

市・県・国が協力して復旧・復興を進める。費用には税金が使われる

守る人：市役所・県庁・国（自衛隊の派遣など）

自分にできること：国民として、政治への関わり方を考える

↓ 前の学年の学びを、次の学年の手がかりにする

※ 学年と単元の対応は学習指導要領による。絵は記号の模式で、守る人や取り組みは例。中学校へのつながりは扱っていない。